

事業所名

児童発達支援事業所 まふいん
(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

R7

年

1

月

21

日

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----------------|--|---|----|-----|---------|---|--|-----|---------|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | 一人一人の個性や特性を踏まえ、年齢や発達段階に合わせた支援を行います。 | | | | | | | | | | |
| 支援方針 | | 子どもの課題を先送りせず、子どもの行動が変わる支援を行います。 | | | | | | | | | | |
| 営業時間 (サービス提供時間) | | 9 | 時 | 30 | 分から | 12 | 時 | 0 | 分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | | | |
| 本人 支 援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> 年齢や発達段階に合わせて、排泄や衣服の着脱などの生活動作を獲得できるようにサポートしていきます。 性教育を通して、身体や心の発達について正しい知識を身に付けられるように興味関心に応じて、絵本の読み聞かせ等分かりやすい方法で伝えていきます。 | | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> 運動遊びを通して、体幹の安定を図ります。 多様な感覚への苦手意識をなくせるように、本人の状況を確認しながら感触遊び等を行います。 | | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> 落ちついて活動できる環境を整え、本人に伝わりやすい言葉かけや指示の出し方をし指示を理解して行動ができるようにします。 小集団での活動を通して経験を積み、自信を持って行動できることが増えるように支援します。 | | | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> 小集団での友達との関りを通して、発語や円滑なコミュニケーションに繋がるように支援します。 分からないことを尋ねたり困りごとの発信ができるように、伝え方等を職員と一緒に確認しながら練習し自己発信できるようにサポートしていきます。 | | | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> 遊びの中で場所や物を共有し、友達との関り方を身に付けられるようにします。 友達との関りの中で、順番を待ったり少し我慢することを経験しながら集団行動がスムーズにいくように支援します。 | | | | | | | | | | |
| 家族支援 | | <ul style="list-style-type: none"> 適宜、面談の機会を設け相談を行います。 活動見学をしながら、支援内容の確認をします。 | | | | 移行支援 | | <ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問支援や園との連絡会を通し、具体的な関わり方や支援についての助言を行います。 | | | | |
| 地域支援・地域連携 | | <ul style="list-style-type: none"> 各機関との支援の役割分担を行い、得られた情報の共有を行い具体的な支援について検討します。 | | | | 職員の質の向上 | | <ul style="list-style-type: none"> 毎活動ごとの打ち合わせや振り返りの中で、子どもの課題や支援方法について協議します。 研修や自己研鑽を積極的に行います。 | | | | |
| 主な行事等 | | <ul style="list-style-type: none"> ナガヤタワーの住人さんとの交流会（クリスマス会 まふいんの畑 他） | | | | | | | | | | |